

尾道市総合計画策定のための 市民満足度調査の結果

本市では、将来の健全な発展と市民生活の安定及び生活環境の向上を図るため「総合計画」の策定を進めております。

地方分権社会の進展や、厳しい財政状況など、本市を取り巻く環境が変化する中、策定にあたっては、市民のみなさまと行政とがともに作り、ともに実践することが重要との認識に立ち、分かりやすく、実効性の高い計画づくりを行いたいと考えています。そのため、市民のみなさまが日常生活の中で感じていることをご意見やご希望としてお聞きし、まちづくりの参考にさせていただくため、アンケートを実施いたしました。

この資料は、調査結果の概要を市民のみなさまにお知らせし、今後の尾道市のまちづくりをともに考えていくための基礎資料として活用するものです。

●調査の目的

尾道市総合計画後期基本計画で定める施策目標の達成状況、今後の目標設定の方向性等に関する市民の評価・意向を把握し、新たな総合計画策定の参考とする。

●調査の方法

調査対象者

○平成28年2月1日現在で18歳以上の市民3,000名（無作為抽出）

実施方法

○調査票配布方法：郵便

○調査票回収方法：郵便（尾道市役所宛て）

実施期間

○調査票発送日：平成28年2月2日(火)

○調査締切日：平成28年2月26日(金)までに投函

●調査票の回収結果

有効回収数は1,180票（有効回収率は39.3%）

1. 回答者の属性

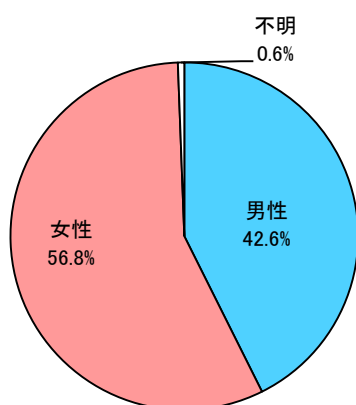
回答者の方の性別、年齢等については以下のとおりです。

性別は「男性」が42.6%、「女性」が56.8%と、女性がやや多くなっています。年齢は「60～69歳」が21.9%、「70歳以上」が35.0%と、半分強が60歳以上となっています。

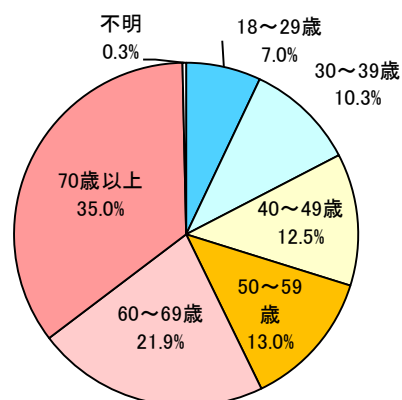
住所は「中部（尾道地域）」が22.7%、市内居住年数は「20年以上」が80.0%と大部分を占めています。

家族構成は、「夫婦のみ」が29.8%、「本人（夫婦）と子ども（夫婦）の二世帯」が26.9%と多いですが、単身世帯を含め、比較的いろいろな家族構成に分散しています。

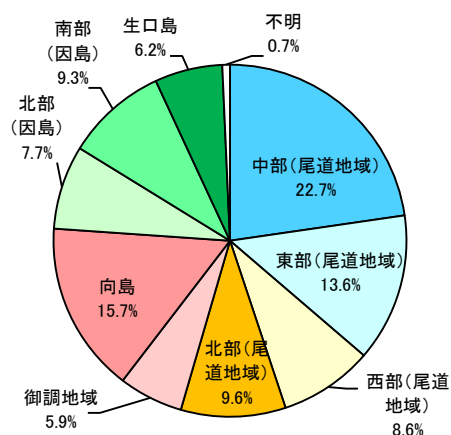
■性別



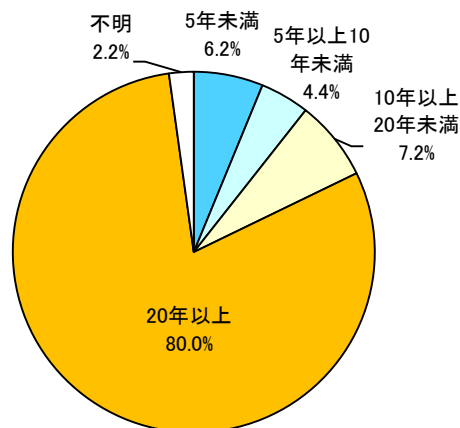
■年齢



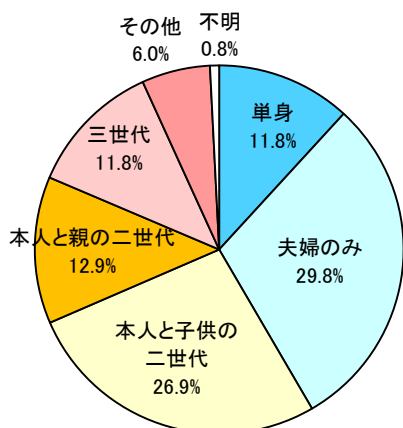
■住所



■市内居住年数



■家族構成



2 . 政策目標に関する評価

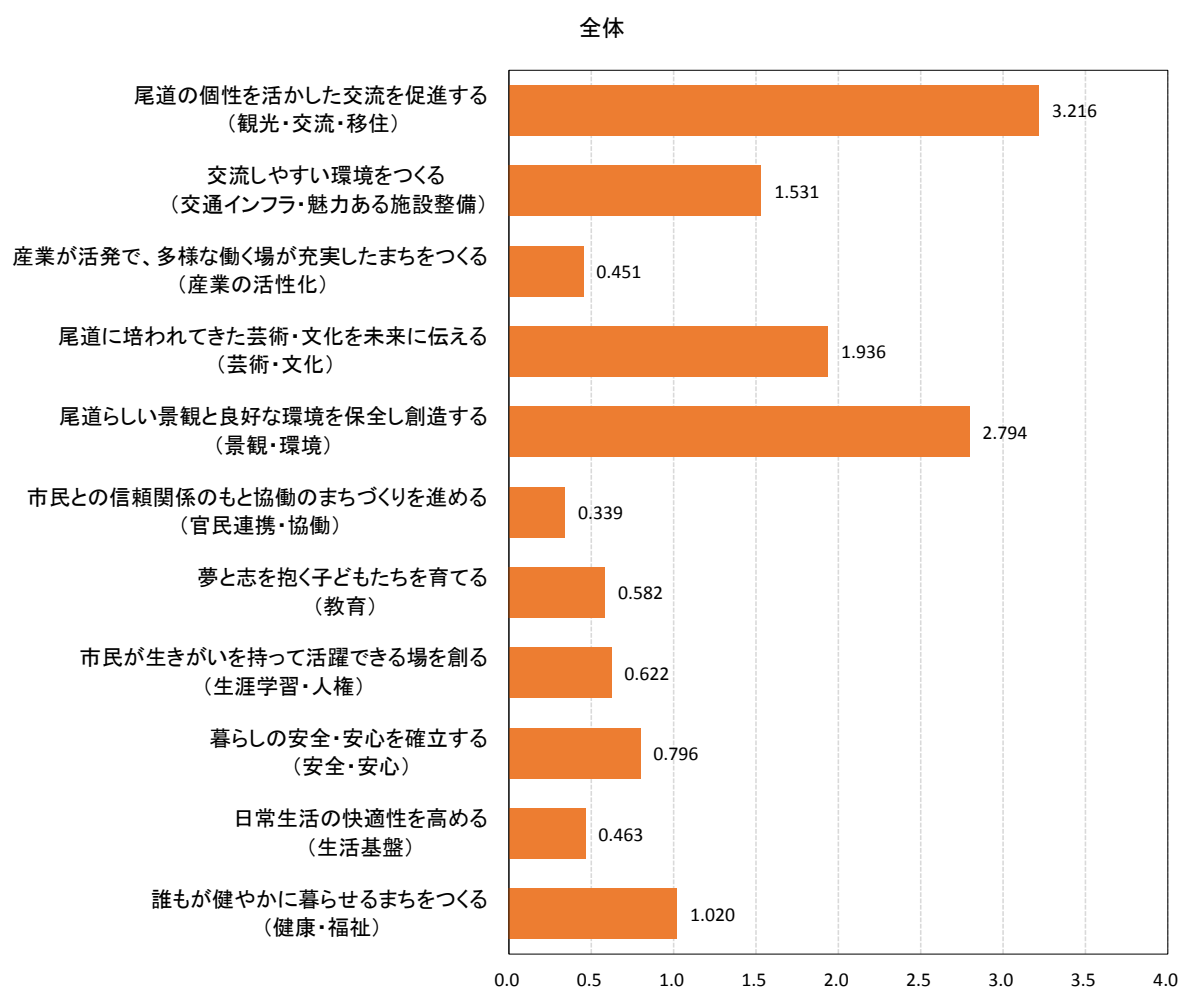
(1) 過去5年間の取組の成果に対する評価

現在の尾道市や地域の状況に対して、過去5年間で、11項目の政策目標のうち、どの取組が進んだ（成果を上げた）と思うかについてお尋ねしました。

「尾道の個性を活かした交流を促進する（観光・交流・移住）」が3.216で上位にあがり、次いで、「尾道らしい景観と良好な環境を保全し創造する（景観・環境）」の2.794、「尾道に培われてきた芸術・文化を未来に伝える（芸術・文化）」の1.936の順となり、尾道市の歴史や地域特性を活かした取組が高い評価を得ています。一方、「官民連携・協働」や「産業の活性化」、「生活基盤」などについては、相対的に評価が低くなっています。

過去5年間で、進んだ（成果を上げた）取組（加重平均値）

（注）第1位：5点、第2位：4点、第3位：3点、第4位：2点、第5位：1点として、それぞれの回答者数に乘じ、総和を有効回答者数で除した値。（全員が第1位に回答すれば5.0となる。最低点は0.0。）



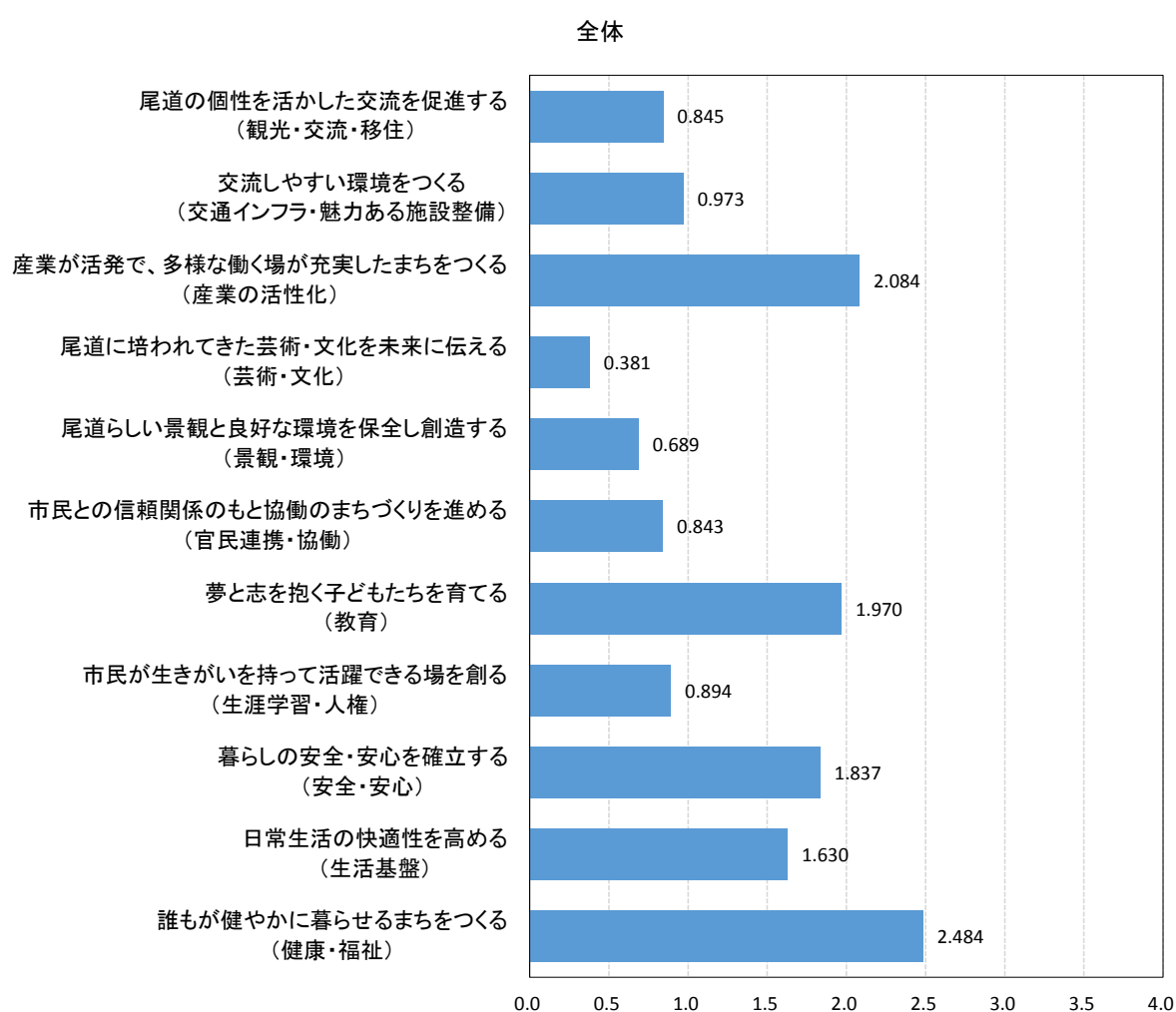
(2) 今後 5 年間の取組の重要性に対する評価

(1) で示した 1 1 項目の政策目標について、今後10年間で取組が重要と思われるものを挙げていただきました。

「誰もが健やかに暮らせるまちをつくる (健康・福祉)」が2.484で上位にあがり、次いで、「産業が活発で、多様な働く場が充実したまちをつくる (産業の活性化)」の2.084、「夢と志を抱く子どもたちを育てる (教育)」の1.970の順となり、「健康・福祉」や「産業の活性化」、「教育」が上位に挙げられ更なる取組が必要と考えられます。

今後 1 0 年間で、特に重要な取組 (加重平均値)

(注) 第 1 位 : 5 点、第 2 位 : 4 点、第 3 位 : 3 点、第 4 位 : 2 点、第 5 位 : 1 点として、それぞれの回答者数に乘じ、総和を有効回答者数で除した値。(全員が第 1 位に回答すれば 5. 0 となる。最低点は 0. 0。)



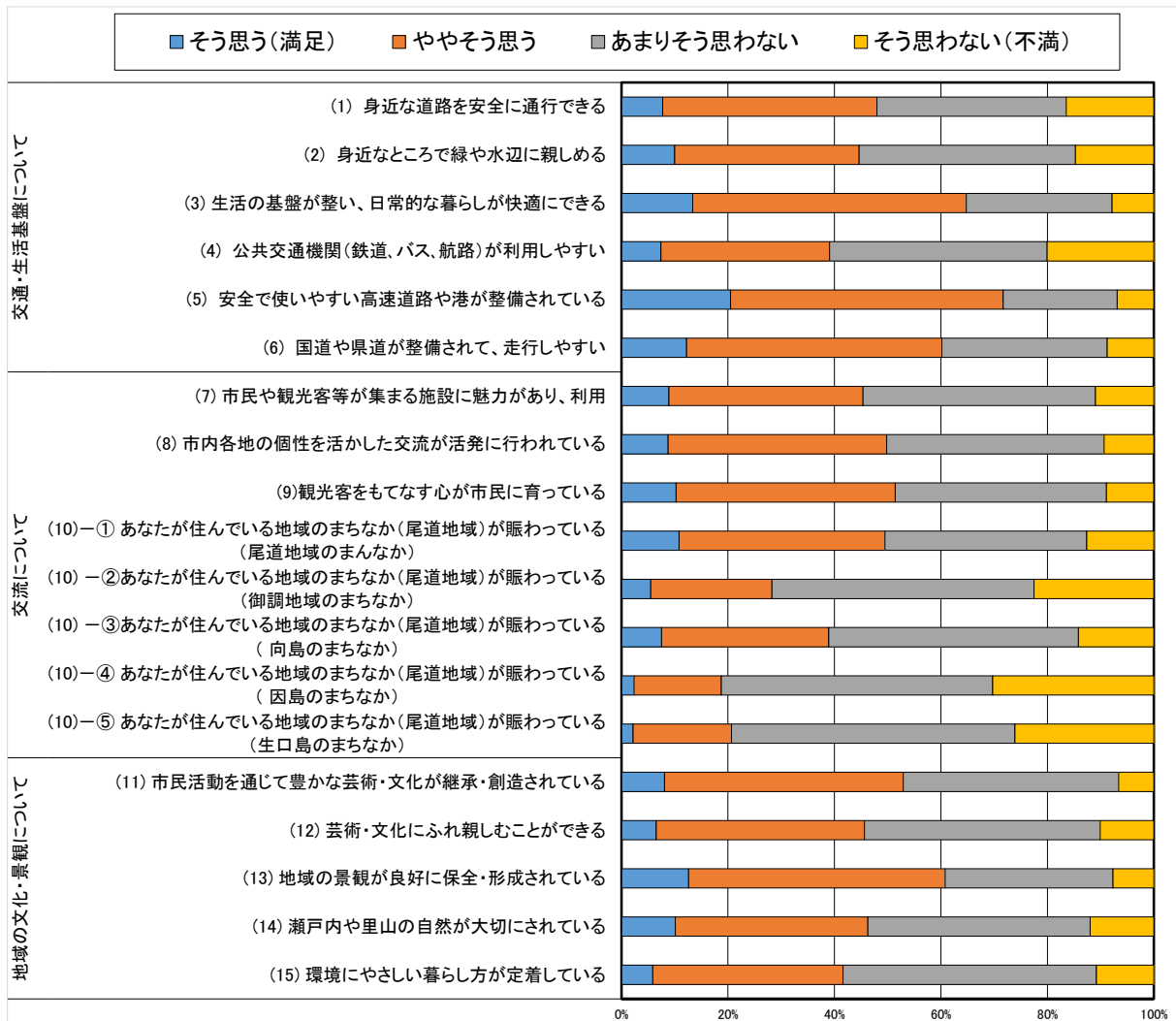
3 . 施策目標に関する評価

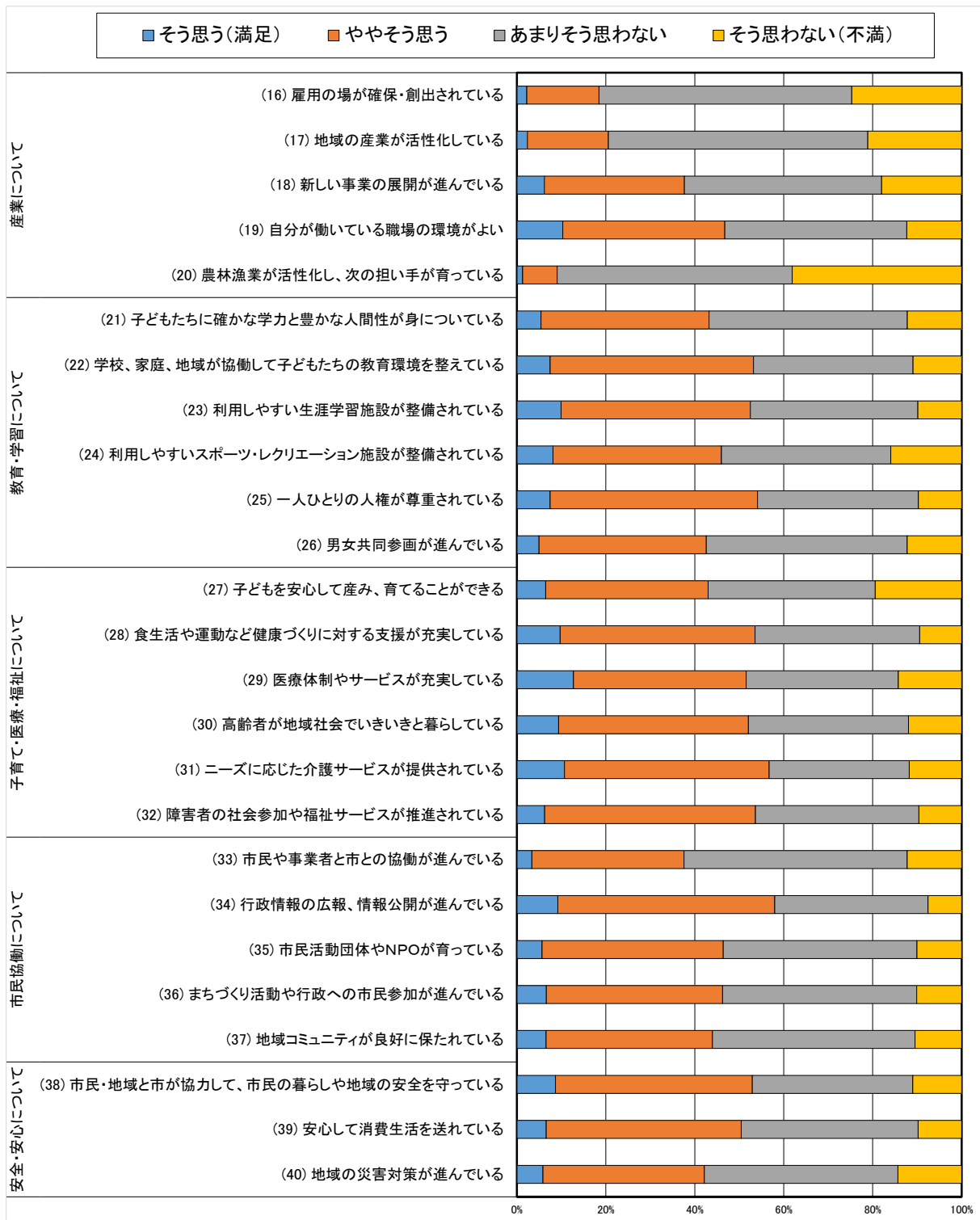
(1) 現状の満足度評価

本市の総合計画では、具体的な取組を進めるに当たって、前項の11項目の政策目標を具体化した40項目の「施策目標」を掲げています。これらの施策目標について、現状の満足度を4段階で評価していただいたのが下のグラフです。

政策目標で評価が高かった「地域の文化・景観について」などについては、施策目標レベルでも比較的高い満足度が得られています。一方、相対的に評価が低かった「産業について」では、「(20) 農林漁業が活性化し、次の担い手が育っている」や「(16) 雇用の場が確保・創出されている」など、施策目標レベルでも「そう思わない」の回答が多くを占めています。そのほか「(10) あなたが住んでいる地域のまちなか（中心市街地）が賑わっている」の「10-④因島のまちなか」、「10-⑤生口島のまちなか」などについて、「そう思わない」の回答が多く見受けられます。

施策目標に関する満足度（現状の評価）



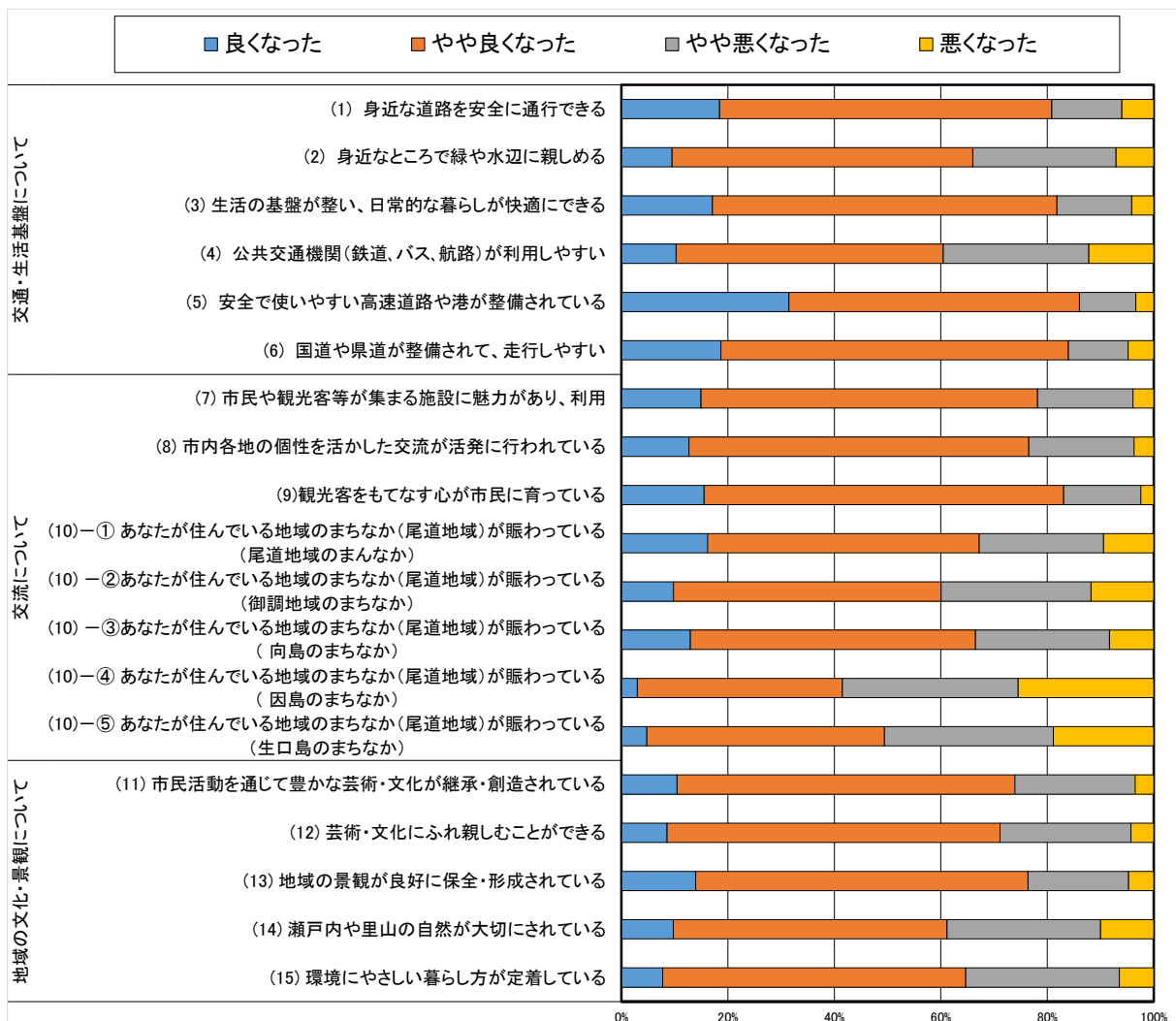


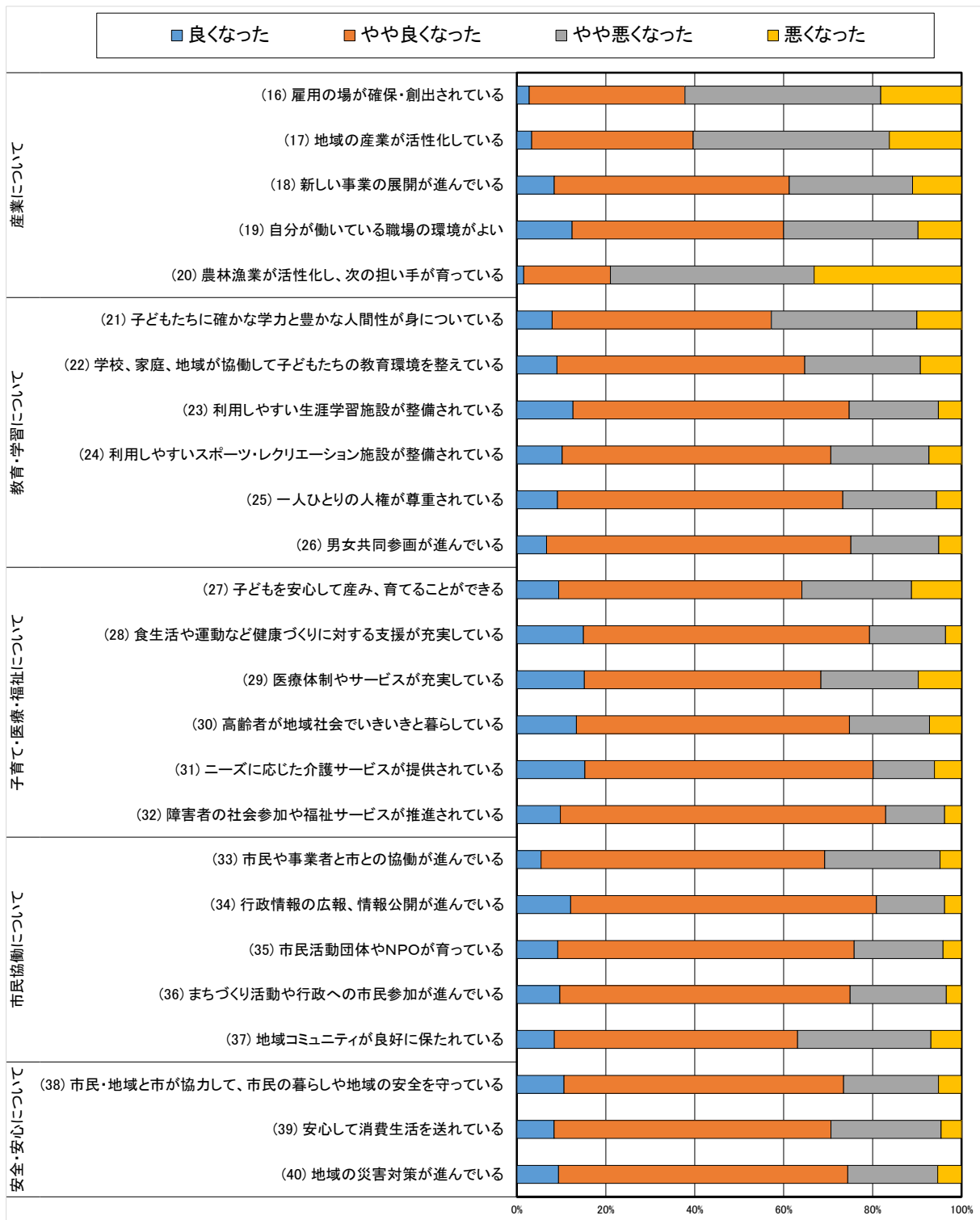
(2) 10年前からの変化

前項の11項目の政策目標を具体化した40項目の「施策目標」を10年前からの変化として掲げています。これらの施策目標について、現状の満足度を4段階で評価していただいたのが下のグラフです。

「交通・生活基盤について」の「(5) 安全で使いやすい高速道路や港が整備されている」、「(1) 身近な道路を安全に通行できる」などについては、比較的高い満足度が得られています。一方、相対的に評価が低かった「産業について」では、「(20) 農林漁業が活性化し、次の担い手が育っている」や「(16) 雇用の場が確保・創出されている」など、施策目標レベルでも「悪くなった」の回答が多くを占めています。

施策目標に関する10年前からの変化



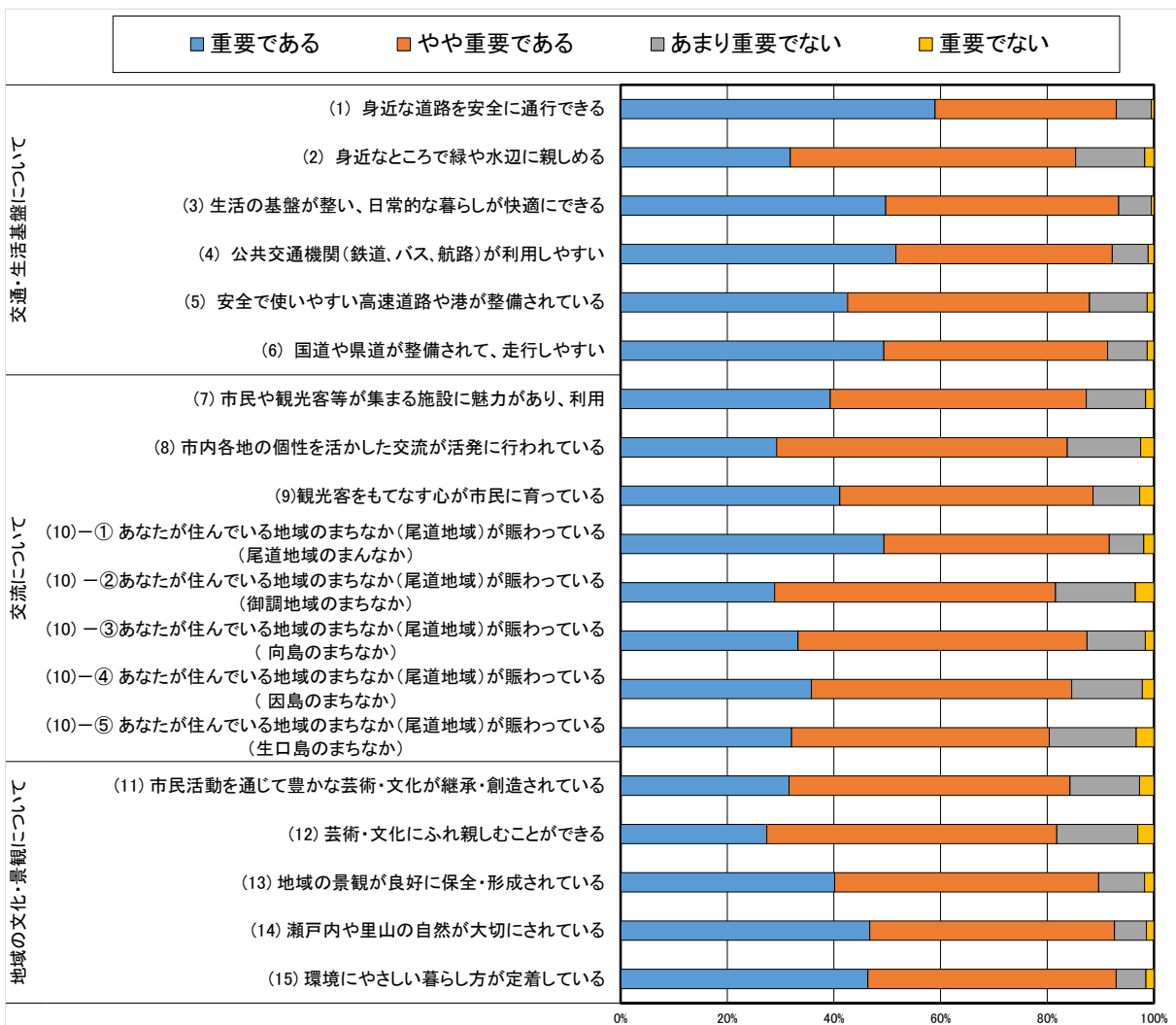


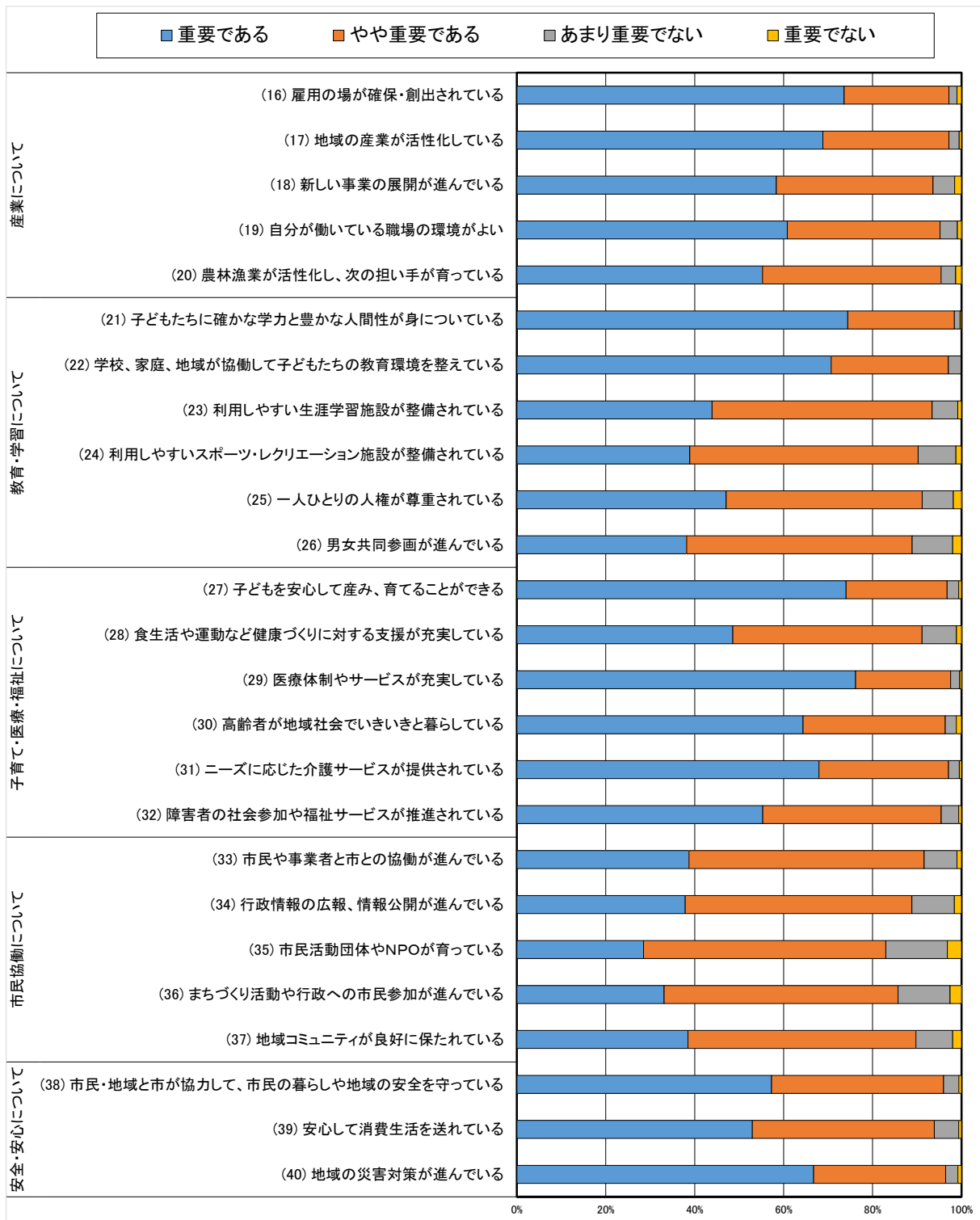
(3) 今後の取組の重要性

(1) で見た 4 0 項目の施策目標について、今後の重要度を 4 段階で評価していただいたのが下のグラフです。

「子育て・医療・福祉について」、「産業について」、「教育・学習について」などが、施策目標レベルでも重要度の高い取組として挙げられています。特に、「(29) 医療体制やサービスが充実している」や「(16) 雇用の場が確保・創出されている」、「(21) 子どもたちに確かな学力と豊かな人間性が身についている」の重要度が高く評価されており、少子化が進む中で、市としての具体的な対応策の強化が求められています。

施策目標に関する重要度（今後の重要性評価）



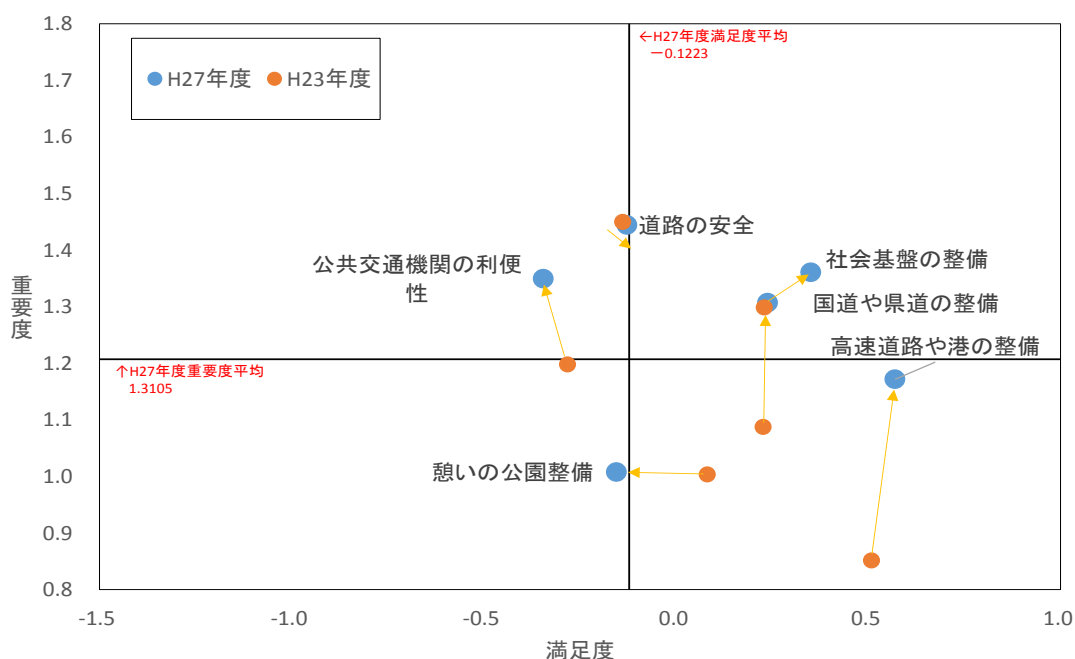


(4) 満足度と重要度の対比分析

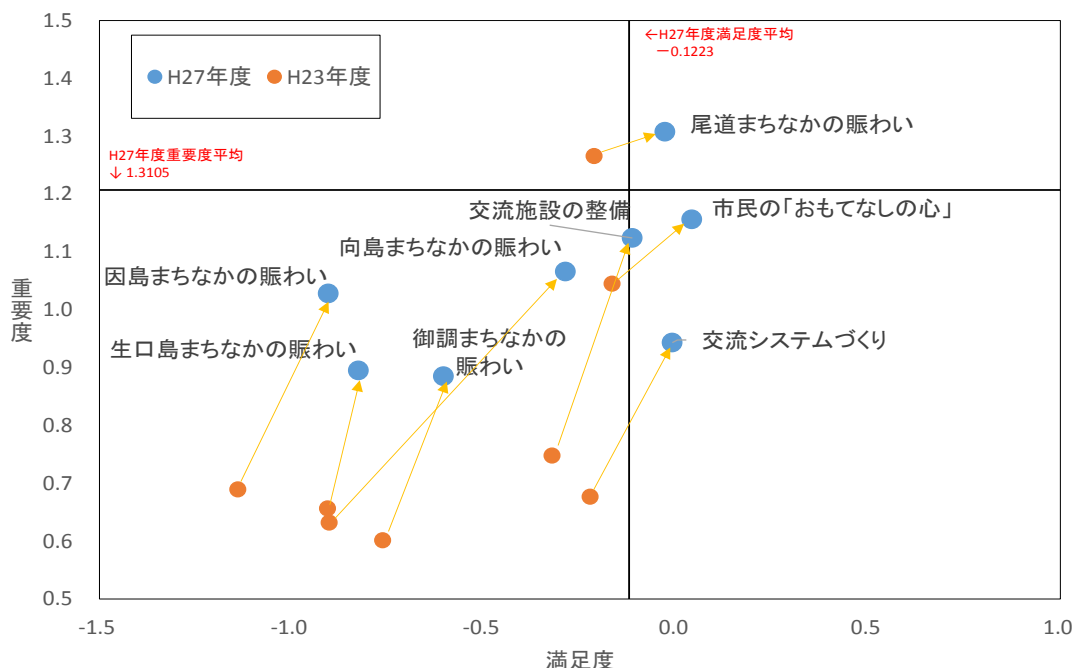
40項目の施策目標について、(1)で現状の満足度、(3)で今後の重要度に関する評価を見ましたが、それらを前回調査と合わせて見比べるため、満足度を横軸に、重要度を縦軸に取って各施策目標の評価の分布を示したのが下のグラフです。右側に行くほど満足度が高く、上側に行くほど重要度が高いことを示しています。

尾道市の生活環境・取組に関する市民の満足度・重要度（前回調査比較）

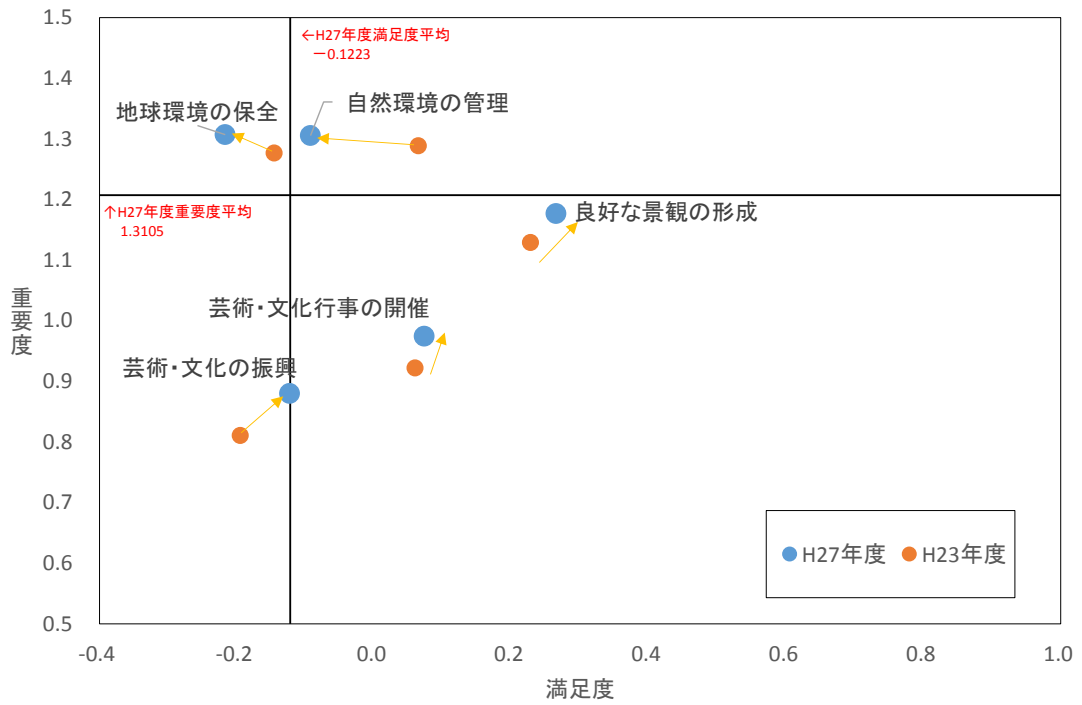
【交通・生活】



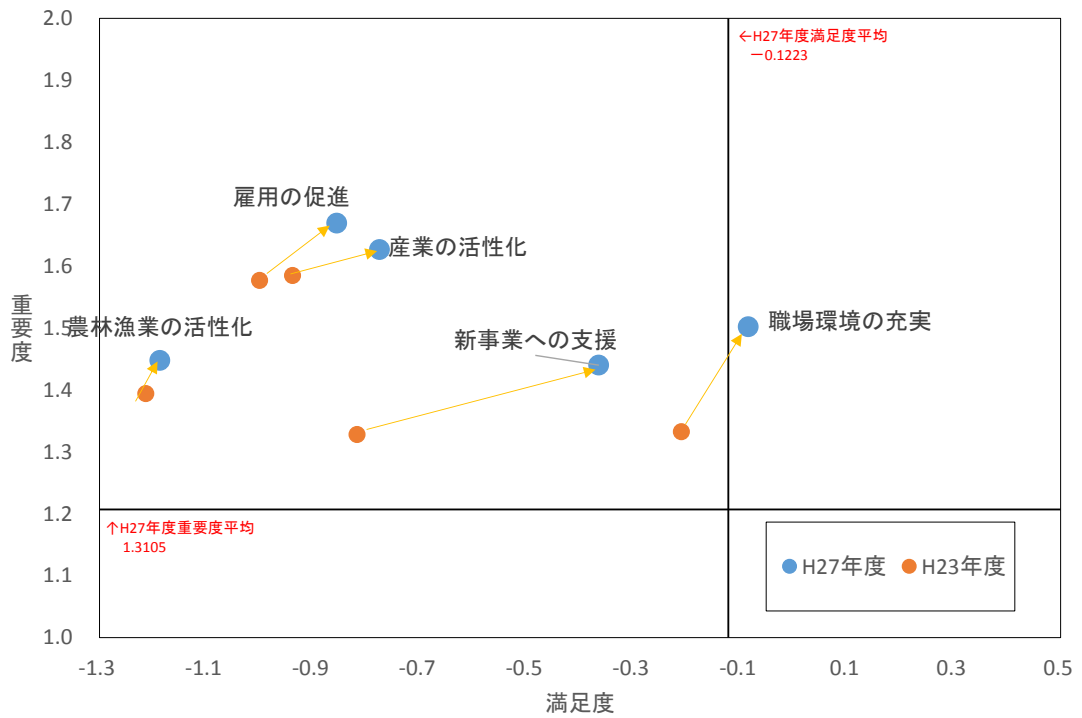
【交流】



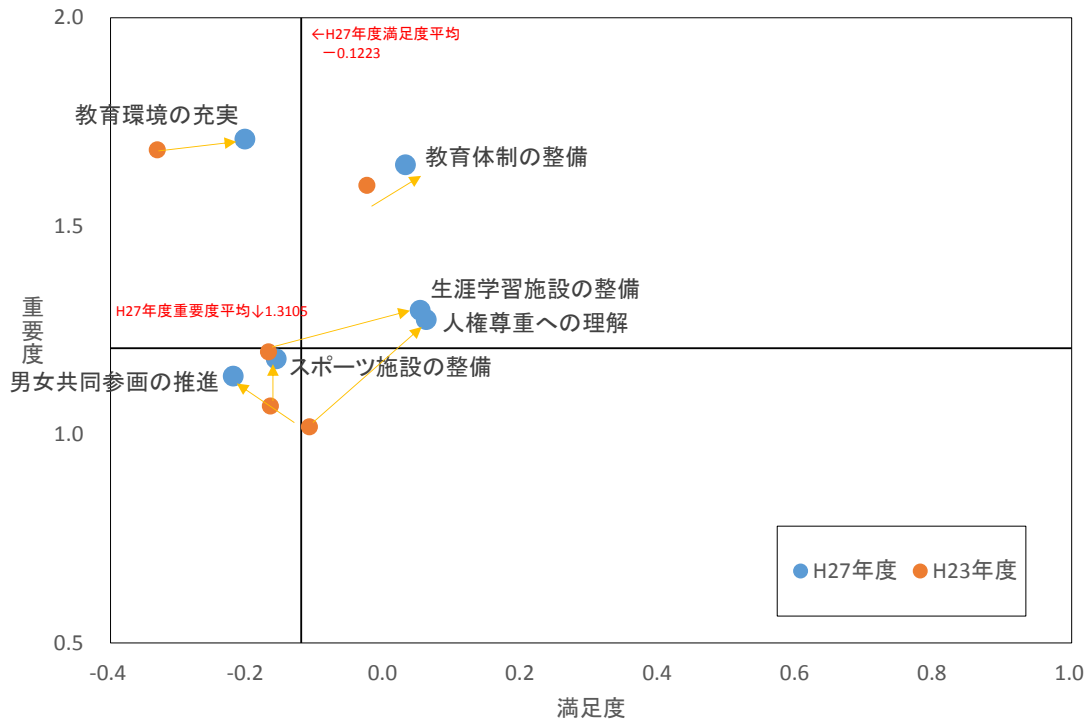
【文化・景観】



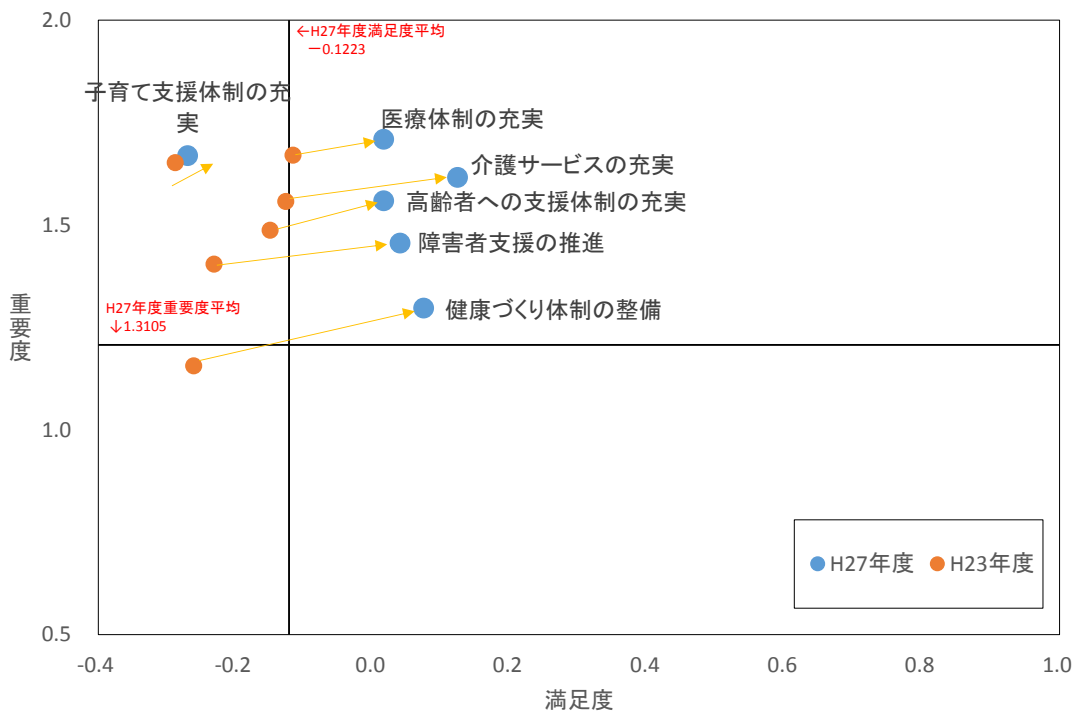
【産業】



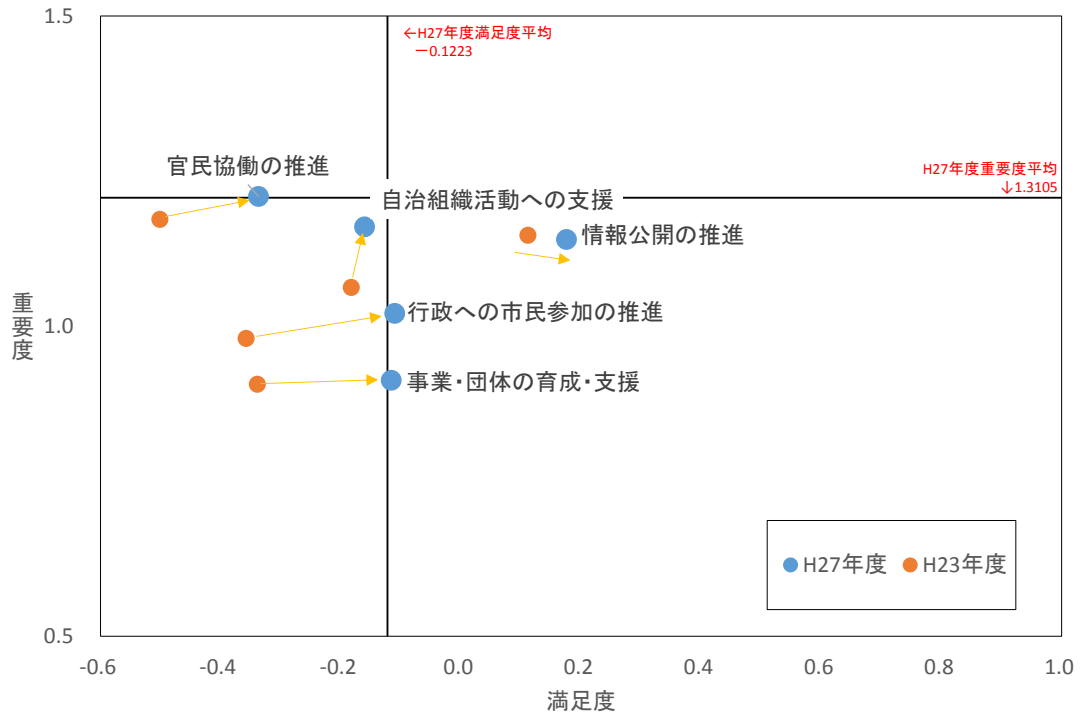
【教育・学習】



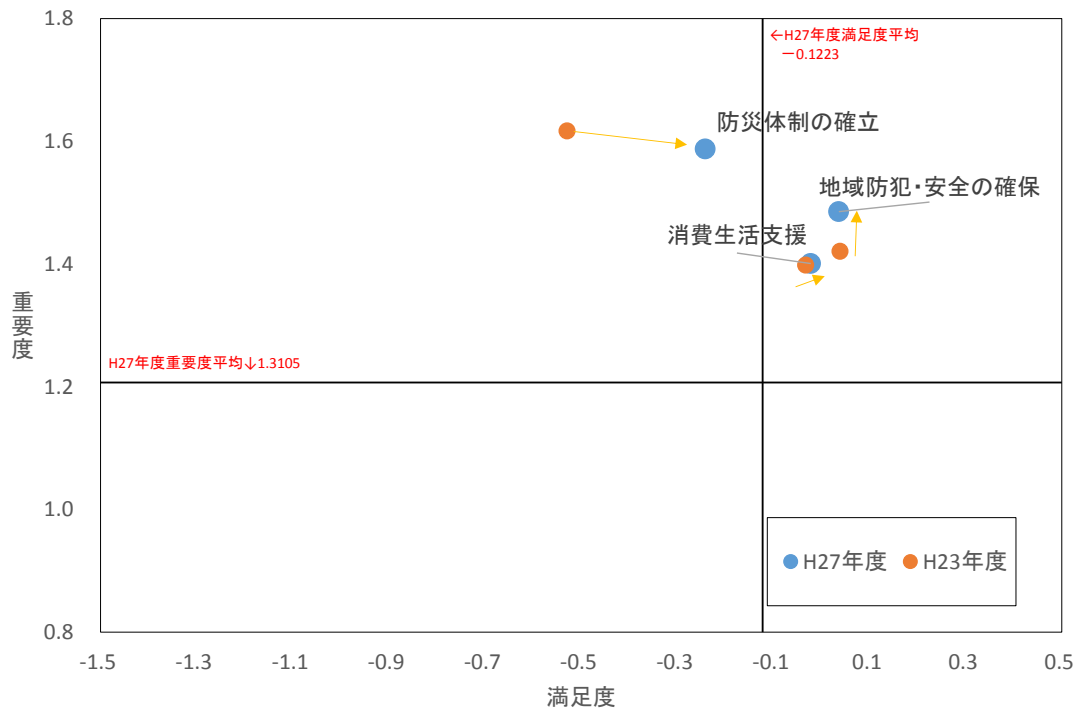
【子育て・医療】



【市民協働】

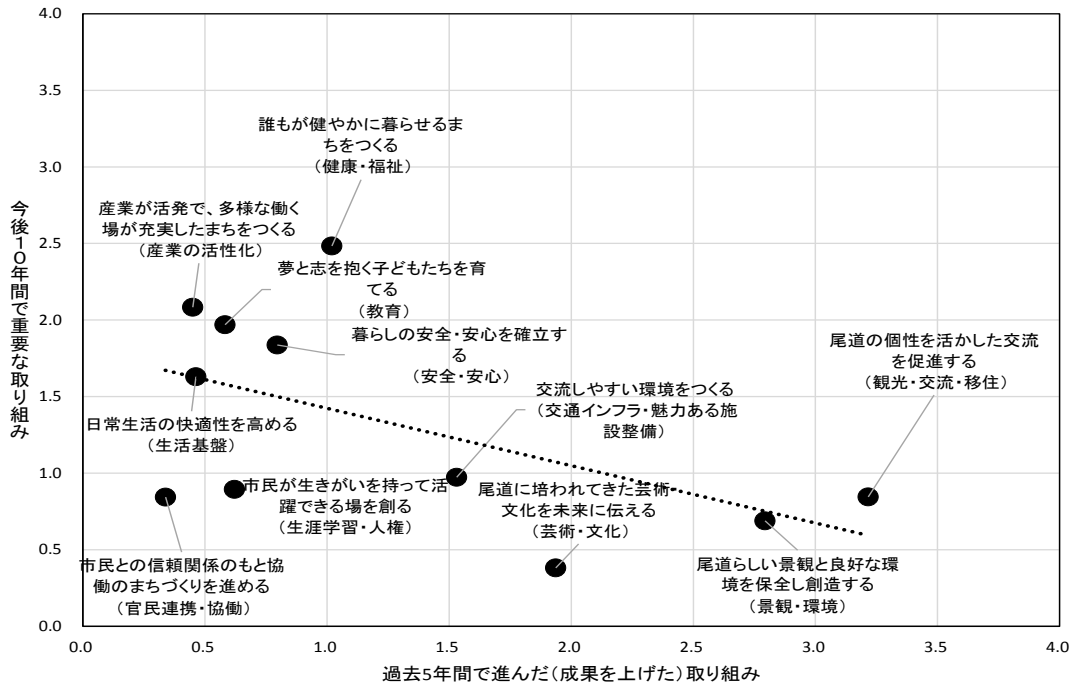


【安全安心】



過去5年間で、進んだ（成果を上げた）取組（加重平均値）と、今後10年間で、特に重要な取組（加重平均値）の関係

全体



生活環境・取組に関する、10年前からの変化（加重平均値）

（注）10年前からの変化で、「良くなった」：+2点、「やや良くなった」：+1点、「やや悪くなった」：-1点、「悪くなった」：-2点として、それぞれの回答者数（不明を除く）を乗じ、その総和を有効回答者数で除して算出。（全員が「良くなった」と回答すれば+2.0点、全員が「悪くなった」と回答すれば-2.0点となる。）

